有海静枝
ミニ句集

有海静枝　略歴

１９ＸＸ年	山口県に生まれる
２００２年頃	長門川柳句会投句会員
	川柳マガジン　投稿（休み休み）
２００５年頃	下松多宝塔川柳会
２０１６年３月	川柳塔　誌友

出版物

自選句集「みかんの花」　２０１７年２月

わくわくと地雷踏んじゃえピンヒール

澄みきった空だ罪人さえ許す

悲しみをたんと知ってる優しい手

欲望の海に溺れている地球

身をひとつ生まれて消えてゆくのです

たんぽぽを踏まないように鬼ごっこ

縦と横区切りの中にある立場

少しだけ嵌ってみたい絵空事

ぼちぼちですこの世のすべてしゃぼん玉

死者に逢うように浴びます花吹雪

ほがらかに成れる涙が尽きたなら

真相は覆い隠して雪女

念ずれば羽が生えます君恋し

嘘つきと胸叩きたい風の人

掴もうか優しい人が差し出す手

あっぷあっぷ読めぬ空気の輪の中で

我慢した数だけ壁に空いた穴

多数派を雑草と言い引っこ抜く

臆せずにまんまで破れ君の殻

ほめ言葉きっときれいな蝶になる

音もなく今日を限りと舞うさくら

わくわくを封じるように重ね紅

さくらさくら痛みしばらく薄くなる

暇でさえなければかからない毒牙

約束の風化か浜に樹の骸

徒花が人知れず咲く緋のごとく

感情を封じ痙攣する瞳

大波も小波も越えた犬掻きで

不用品捨てて記憶が痩せてゆく

片腕でなんとかなるさ揺れ小舟

本来は隣の芝生あたりです

早過ぎと喪の帯解いてから崩れ

ふうわりとあの世とこの世を飛ぶ蛍

闇無音静かに自分聞こえ出す

澄みきった空と海には枠がない

憎しみは愛かもしれぬざわめく樹

風とおる欲を握った手を放ち

慎みは幾重の下にある真意

森深く隠したモスラ孵化をさせ

ふしだらな角度に傾斜する磁石

行き先は知らない蟻の最後尾

九条の変奏序曲流れ来る

キャスターの言葉で色がつくニュース

虐待で裂かれた後も乳は出る

きれいな手これから苦労を知るんだね

毎日が赤信号の点滅だ

普通ってなにさ基準がない普通

手本からはみ出て伸びてゆく個性

基本形ネガティィヴですが生きてます

夜も更けた今日の喜劇にやっと幕

有海静枝ミニ句集

発行人　有海静枝
編集所　川柳塔社 WEB サイト
http://senryutou.net